

松戸ロータリークラブ

【2010-11年度国際ロータリーテーマ】

地域を育み、大陸をつなぐ

Building Communities,
Bridging Continents

[第2638回例会]

会 報

No.2637

2010年7月14日 発行

●四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- ① 真実か どうか
- ② みんなに公平か
- ③ 好意と友情を深めるか
- ④ みんなのためになるか どうか

●THE 4-WAY TEST

Of the things we think, say or do

- ① Is it the TRUTH?
- ② Is it FAIR to all concerned?
- ③ Will it build GOODWILL and BETTER FRIENDSHIPS?
- ④ Will it be BENEFICIAL to all concerned?



地域を育み、大陸をつなぐ

本日のプログラム

2010年7月14日(水)

卓 話

「幹事、4大奉仕委員長挨拶」

次回のプログラム

2010年7月21日(水)

卓 話

「各委員長挨拶」

- 例会日 毎週水曜 12:30~1:30
- 例会場 伊勢丹松戸店本館11Fバンケットルーム
TEL: 047-364-1111
- 事務所 松戸市松戸1281 ユニティビル2F
TEL: 047-366-2266
FAX: 047-361-2255
URL: matsudo-rc.com
E-mail: info@matsudo-rc.com

- 会 長 伊原 清良
- 会長エクト 常盤 映彦
- 副 会 長 加藤 栄
- 幹 事 松田 茂一
- 会 計 加瀬 仁
- 会報委員 松本 幸夫 申 澈権 太田原慎一
- 山田 達郎 澤田 正宏 土肥伸一郎
- 加瀬 仁 車田 善教 浅井 利明
- 三国 大吾

「会長、エレクト挨拶」



伊原清良 会長

本日のご入会の浅井さん、三国さん、ご入会おめでとうございます。この感激を胸に秘めてどうぞ、ご研鑽ください。先程は中山政明ロータリー情報委員長、レクチャーお疲れ様でした。私自身の入会日は15年前でしたが昨日の如く、憶えています。会長は富田先生。幹事は斎藤重久さん。紹介者は杉浦裕さんと小泉勝司さん。レクチャーは土屋亮平さん。会場はニューオータニ。江戸川からの秋の日差しがまぶしく、例会場が薄暗く感じました。そんな中に加藤栄八郎氏のやさしい笑顔、こわい感じがした島村俊氏、遠い親戚の林一氏、乱暴者の父から聞いていた同じ学年で勉強が良くできて級長だった町山高之助さんなどなど。そんな中で、公証人だった大井好仁さんがいました。最年長と思われる会員で背中が丸まっていた。私が名刺を差し出しました。私はもちろん初対面。「今度、入会した伊原と申します。」「松戸の伊原さんには、孝ちゃんという娘が嫁いでいるはずだ。」「それは私の母です。」「あんた孝ちゃんの息子さんか。鶴ちゃん知ってるか。俺は鶴ちゃんの親友だ。」「秋元鶴雄は私の母の兄。10人兄弟の長男。私の母は6番目の長女。流山の秋元の分家で近藤勇の陣屋跡の家。秋元鶴雄は流山ロータリークラブの初代会長を務めた。後日談(山田勝重会員)であるが、公証人役場の披露を松戸の市民劇場で行った際に、私の伯父にあたる秋元鶴雄が友人代表で挨拶したそうである。大井好仁さんと出逢った時、人はひとりで生きていくのではない。つくづく、御縁というものを感じました。

少年の頃、母の実家に行くと、相撲を良く取らされた。私は姉二人で末っ子の長男だから家で相撲などしたことはない。「なんだ清良ちゃんは弱

いな。」そんな、流山の家の掛け軸に《積善之家必有余慶》 積善の家には必ず余慶が有る。とありました。その後、私はこれを大切な人生訓としています。

織田ガバナーは、以下のように述べています。

私は日頃から、家族を愛する気持ちの延長線上に郷土愛があり、それらを前提に祖国を大切に思う気持ちが生まれ、その先に人類愛という大輪の花が清らかに咲き誇るのだと考えています。

家族や郷土を愛することのできない人が人類愛を語ることに説得力がないのと同様に、高潔な生き方を志そうとしない人が「地域を育み、大陸をつなぐ」ことにも無理があります。「例会を通じて自らを磨き続けること」を基本に据えて、私達はこのテーマに真摯に向き合い、こころをひとつにして奉仕の道を共に歩んでゆきましょう。

物や金の価値から心の価値の大切さが伝わってきます。ポールハリスは、さびしくてロータリーを作ったと言われています。人はひとりで生きていけない。人はひとりで歩いていけない。純血は弱いと言われています。生きていく知恵を掴んで下さい。どうか、この松戸ロータリークラブで、上質な異業、異能、異文化、異世代、を一緒に楽しんでいきましょう。



常盤映彦 会長エレクト

今年度会長エレクトの常盤です。

伊原会長の年度初の例会の、いつもに似合わぬ緊張ぶりをみて、いよいよ来年度、伝統ある松戸ロータリークラブの会長の職を担う事が現実的となり、あらためて責任の重さを実感しています。

例会は、奉仕の理想の実現のための研鑽、自己啓発の場ではありますが、特に今年はいろいろご指導をいただき、諸先輩会長の築いた美しいロータリークラブの会長の職を全うできるよう勉強してまいりたいと存じますので、宜しく願いいたします。

幹 事 報 告



松田茂一 幹事

1. クラブ内、会議・連絡事項等の案内

本日例会終了後理事会があります。

本クラブ活動計画書をお渡ししましたが、何か間違い等ありましたら幹事まで申し出て下さい。

2. 外部からの会議・連絡事項等の案内

特にございません

3. 他クラブ会報・その他

特にございません

4. 例会変更の連絡

特にございません

5. その他報告

特にございません



【入会】小林 孝数君
平成14年7月1日（7年）



【入会】申 激権君
平成21年7月1日（1年）



【入会】澤田 正宏君
平成21年7月15日（1年）



【誕生】土肥伸一郎君 10日



【結婚】森氏(雅)夫妻 7日



入会記念日	富田 善治君	昭和52年 7月13日(32年)
	草野 進君	平成 6年 7月 6日(15年)
会員誕生日	太田原慎一君	27日
ご夫人誕生日	橋口 由紀様	23日
	常盤 圭子様	31日

第1回 理事会報告

[議 題]

上半期会費について

松戸宿坂川献灯まつり協賛について

日本赤十字への寄付について

新入会員の承認について

退会者について

名誉会員として山田勝重様が全員一致で推挙されました。

分区拠出金について

新入会員ご紹介



新入会員 浅井会員



新入会員 三国会員

氏 名 浅井 利明（アサイ トシアキ）
事業所名 有限会社 投資評価
職業分類 不動産鑑定士
所在地 〒271-0074 松戸市緑ヶ丘1-101-1

氏 名 三国 大吾（ミクニ ダイゴ）
事業所名 医療法人社団 大伸会
職業分類 歯科医
所在地 〒270-2212 松戸市五香南2-17-8

お 祝 い



【入会】土屋 亮平君
昭和38年7月1日（46年）



【入会】中山 政明君
平成7年7月5日（14年）

例会報告

ニコニコBOX

[例会写真]



点鐘 伊原会長



お客様 東京江戸川RC 三浦様



伊原会長と杉浦裕会員



伊原会長と土屋会員



伊原会長と中山会員



伊原会長と中山会員



推薦者 伊原会長と
新入会員 浅井会員



推薦者 小泉会員と
新入会員 三国会員

[出席報告]

会員50名	義務会員41名	免除会員 9名
出席42名	義務会員36名	免除会員 6名
仮欠 8名	義務会員 5名	免除会員 3名

[欠席者]

島村 善行君	大川 吉美君	太田原慎一君
平松 徹君	田原 晨暁君	

本日出席率 89.36%

[お客様]

三浦 亮一様 東京江戸川RC

土屋亮平君 / 入会のお祝いを頂きまして、感謝申し上げます。

土屋亮平君 / 伊原年度の成功を祈念して。七日夕です。

中山政明君 / 入会記念ありがとうございます。15年目をむかえました。おかげさまで会長職も終わりました。ご協力に感謝致します。同時に伊原丸の出航を祝い無事な航海をお祈り致します。

伊原清良君 / 本日より始まります。自慢話が多くなれない様にしますがお許し下さい。一年間、どうかよろしくお願い申し上げます。

常盤映彦君 / 妻の誕生日祝有難うございます。元気に過ごしております。

小林孝数君 / 松戸RCに入会させて頂き8年が過ぎました。本日はお祝い頂戴し有難うございました。

森田雅久君 / 結婚記念のお祝いを頂戴し誠にありがとうございます。今年で結婚10年目です。これからも人が羨む素敵な夫婦として仲良くやっています。ありがとうございました。

橋口和幸君 / 家内の誕生日記念品ありがとうございました。

中田智次郎君 / 6月の10日会では、初優勝させて頂きました。当日は、天気よし、コースよし、メンバーよし、そして何よりもハンディ良しで優勝出来ました。皆様ありがとうございました。

土肥伸一郎君 / 気持ちはいつも31才でいます。あかるく、元気にこれからもよろしくおねがいします。

ニコニコBOX	当日 ¥75,000	累計 ¥75,000
---------	------------	------------

財 団BOX	当日 ¥ 4,586	累計 ¥ 4,586
--------	------------	------------

文責 / 山田 (達)